

もっと もっと あーとの時間



楽しい版画指導のために



1 テーマの段階（参考）

- ◆低学年…ぺったん遊びの発展でもOKです。（かきこみも可）

紙版画にしても、たくさんの材料集めをしておくことが大事です。プッチンマット、うちわの骨、ズックの裏、手、たわし、レンコン、みかんの皮、タマネギの袋、リンゴのスチレンマット、スポンジ…などなど、「こんなものが…？」という物が意外とおもしろいです。絵の具等で描き足しをさせてもOK。

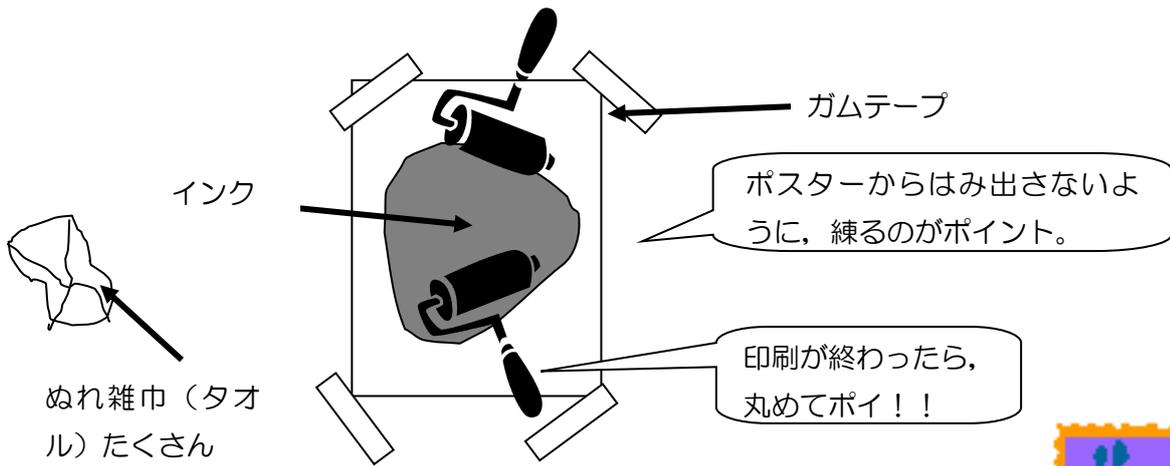
- ◆中学年…板紙版画やスチレン版画、もしくは、ぺったんなど、様々な技法の組み合わせや多様な材料の活用などの可能性があります。木版画と他材料・技法との組み合わせも一案です。そのため、四角い画面にこだわらなくてもいいです。表したい物をより効果的に表せる手法・技法を選択させましょう。多色（赤・緑・青・黄色）ですり重ねてもおもしろいです。また、ずらして印刷するのもおもしろく、描き込みなどでバリエーションを楽しめます。

- ◆高学年…主に木版画。（多色版画もおもしろいです。）テーマとしては、写生や静物でもいいでしょう。変わったアングルの構図か、テーマそのものに新しさがあるようにしましょう。（ミシンを踏む母を斜め下から見上げる、洗濯物を上から見下ろす、ガラス越しに何かを見るなど）彫刻刀のさまざまな表情を生かすようにします。（特に平刀）また、白い部分に裏から彩色するとひと味違った作品も楽しめます。

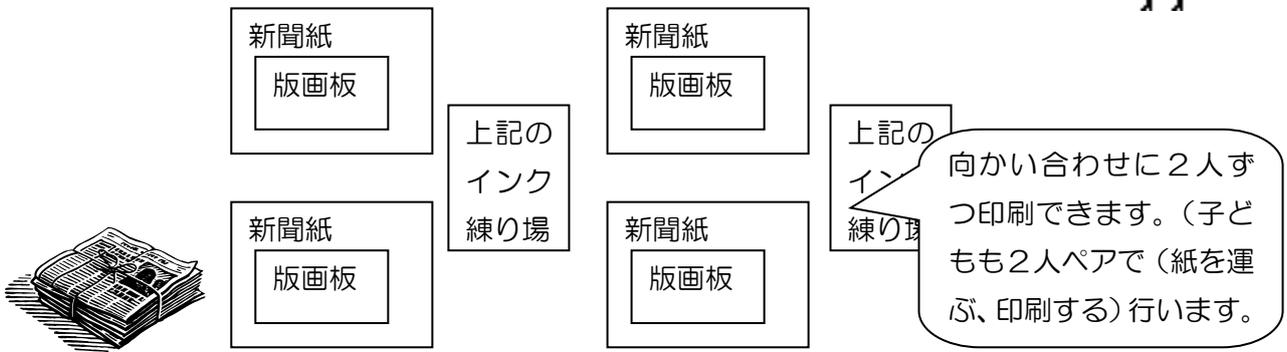
※パス版木の技法について知りたい場合は資料が別にあります。

2 お手軽印刷のマニュアル

- 使用するのは、中性インクが使いやすいでしょう。（残しておいても、保存に限界があるので、少なめに注文した方がよいと思います。30人くらいで、ボトル1本程度で十分です。）
- インク板を使わなくても、カレンダーや厚いポスター紙を利用して、教室で簡単に印刷することができます。ポスター等を床にはり、インクを練ります。（使い終わったら捨てる。破れないうちに交換。）今のうちから、カレンダーやポスターなど（なるべく折り目のないもの）を集めておくといいでしょう。正月明けに、いらぬカレンダーを持ってこさせておくといいでしょう。



【配置例】



- 鳥の子紙に印刷する場合は、霧吹きでつるつるの方(表)を、軽くぬらしてしばらくしてから刷るとよいでしょう。普通の和紙の場合は、ぬらしてもぬらさなくてもどちらでもいいです。(薄い色の色画用紙に印刷してみてもおもしろいです。もちろんスパッタリングやローラーなどの技法を施した紙に印刷してもおもしろいです。)
- ストーブの近くに、乾燥台をおけば半日程度で乾きますので、完全に乾かしてから、出品するようにしてください。
- 低学年では、“版画印刷ボランティア”を募るととても楽です。保護者の方にも喜んでもらえますよ。

すてきな版画作品を!!

